2025年　環境レポート
富士通アイ・ネットワークシステムズ株式会社

FUJITSU　I・NETWORK SYSTEMS LIMITED
Environmental　Report

当社は、南アルプス、八ヶ岳、富士山を三方に望む自然豊かな南アルプス市に位置する企業として、環境保全が企業の重要課題であることを認識し、豊かな自然を次の世代に残すことができるよう、地球にやさしい企業活動を積極的に推進します。

ごあいさつ

富士通アイ・ネットワークシステムズのある南アルプス市は2014年6月ユネスコエコパークとして登録され、自然環境と文化を共有の財産と位置づけるとともに 優れた自然環境の永続的な保全と持続可能な利活用に取り組んでいます。
当社は1960年に南アルプス市に工場を開設して以来、高品質なものづくりとサービスを通じてお客様の期待にお応えするとともに、自らもデジタルテクノロジーを使った取り組みによって『環境に、人に優しいスマートなものづくり』の実現に向け進化を続けてまいりました。
主力製品の一つであるスマートメーター通信ユニットは2014年の設置開始以降各家庭の電力使用量を自動で検針する事を可能にしましたが、2025年から始まる第２世代モデルでは更なる性能強化によって再エネの導入拡大や省エネ・CO2排出削減など、電力システムの柔軟性を引き上げる為に必要なデバイスとして期待されています。自社の取組みとして環境保全、地域活動の分野では太陽光発電、非化石燃料への切り替え、緑のカーテン、各種断熱処理などに積極的に取り組み事業所内の電力削減に努めるとともに、南アルプス市と櫛形山に『山桜の森』を整備し、芦安ファンクラブ・針葉樹会（一橋大学山岳部OB）主催の夜叉神峠の登山道整備にも継続して参画しております。
富士通アイ・ネットワークシステムズは環境問題への取り組みを経営の最重要課題の一つとし、事業活動に伴う環境負荷の低減に努め、地元である南アルプスユネスコエコパークの保全、さらには持続可能な社会の実現と地球環境保全に貢献してまいります。

代表取締役社長
多田　真敏

事業所の紹介

■ 富士通アイ・ネットワークシステムズ株式会社
- 所在地　　：山梨県南アルプス市有野３３４６
- 設立　　：1943年10月18日　［株式会社長谷川電機製作所］
- 従業員数 ：305名（連結：345名）（2025年4月1日現在）

■ 主な事業内容
- ネットワーク機器及び通信機器の製造
- 国内・海外の各種ネットワーク製品の出荷保証とカスタマイズ
- お客様の企画、開発計画に基づく新技術・設計・製造・試験等の提案型ビジネスの提供

© 2025 Fujitsu I-Network Systems Limited

環境活動／社会貢献活動

■ 2024年度の活動目標と結果報告

	環境目標項目	目標値	実績値	結果
1	エネルギー消費CO2の排出量をCO2換算で2024年度予測排出量の16.1%削減（電力購入予測量の16%の再エネ購入を含む） ※当社の消費エネルギー：電力＋灯油＋ガソリン＋軽油＋ＬＰＧ	１，６２３ t-CO2 以下	１，４６１ t-CO2	○
2	再生可能エネルギー購入量を電力購入予測量の16%に拡大 ※実績値は、実電力購入量に対しての比率	１６% (524MWh)	17.7% (524MWh)	○
3	社会・環境課題の解決に取り組む活動の実施、及び資金、人材などを支援する。また、生物多様性の保全に取り組む。	１５件 以上	１７件	○

＊ 1-エネルギー消費CO2排出量の削減は、パリ協定やSBT短期目標に準拠し、2030年度末までに2020年度比45%以上削減することを目標にしています。（再エネ購入含む）
＊ 2-再エネ購入は、毎年4%ずつ増量し、2030年には電力購入量の40%を再エネ由来の電力にすることを目指しています。

■ 省エネ活動

- 太陽光発電（2011年10月～）
- 空調機集中コントロールの活用（夏/冬）
- 空調室外機遮光シート
- 建屋遮光シート
- 自動屋根散水機（夏期）（2015年6月～）
- 構内建屋のLED照明化 （８７.６%）
- 空調機の省エネ機器への更新
- シートシャッター／自動ドアのセンサエリア調整による開閉回数の制御
- 本業活動の中での省エネ
  （DX化の推進による生産性の向上、輸送便の統合、
  省エネ性能品への更新 等）
- 緑のカーテン（2010年～14年目）
  構内3か所の建屋南面の日差しを軽減

太陽光発電

■ 再エネ購入

再生可能エネルギー由来の「FIT非化石証書付電力」を購入しています。
2024年度は山梨県の発電所分を指定して購入しました。

© 2025 Fujitsu I-Network Systems Limited

■ 【環境／社会貢献活動】

● 協働の森「南アルプス 山桜の森」活動

2013年に南アルプス市とグリーンパートナーズシップ協定を結び、森の成長を助けると共に自然の大切さを学習する自然環境保全活動を行っています。
本活動も19回目を迎え、成長した木々に見守られながら、南アルプス市の方々や社長をはじめとする参加者の皆さんで、楽しく学び、作業を行いました。

・自然観察会（森に現れる動物の痕跡、森で育つ植物）
・柵周りの草刈り　・柵ネットのツタの除去

【南アルプス山桜の森】
- 南アルプス市 櫛形山 高尾地内苗畑地区
- 森全体面積：4.3ヘクタール
- ヤマザクラ、モミジ

11/30（土）『山桜の森　自然環境保全活動』
FINET･南アルプス市･高尾山財産区：31名

● 南アルプス山道整備

芦安ファンクラブ(NPO法人)、針葉樹会(一橋大学山岳部OB会)主催の山道整備に参加しています。
6月、夜叉神峠トンネル入り口から桧尾峠、高谷山、中池へ繋がる山道の整備を行いました。主催の皆さんの手厚いサポートによりハードな作業も無事終えることが出来ました。

● クリスマスイルミネーションの公開とイベントの開催

12月24日のクリスマスソングやレーザーライトによるイベントをはじめ、1日～25日のイルミネーション公開を多くの皆さんに楽しく過ごしていただけたと感じています。

● 近隣小学校の『地区探検』に協力

5月、小学2年生の「生活科 地区探検」に協力しました。自走ロボットや自動実装/組立の工場見学、電話機解体/電動ドライバー体験など、短い時間でしたが製造業への興味を持ち、楽しく学習できた様子でした。

● 献血への協力（2回/年）

4月と9月にポスター掲示、全社メール、従業員コミュニケーションプラットフォームを通じて献血への協力を募りました。構内での献血には、各回とも献血バス2台を2時間受け入れ、合計54名が参加しました。

● 多機能型通所事業所の方に販売実習の場を提供

事業所で製造したパンやクッキーの販売実習の場として食堂の一部を提供しました。（週1回、昼休憩時）
美味しいパンを購入することが出来ました。

© 2025 Fujitsu I-Network Systems Limited

- ペットボトルキャップ回収活動【労働組合協働】（2010年以前から実施）

  『世界の子供たちのために』という趣旨のもと、ペットボトルキャップの回収を行っています。社内の自動販売機利用分と家庭で集めたキャップを回収することで、従業員家族も含めた活動となっています。毎年回収業者を通じて寄付を行ってきましたが、2024年度からしばらくの間、自社保管を行うことになりました。年に1回の計量により回収量を確認していきます。

- プルタブ回収活動【労働組合協働】（2022年度～）

  『車いすを送ろう！』を目的にプルタブの回収を行っています。ペットボトルキャップと同じシステムで回収を行います。送付できる量になるまで自社保管となりますが、毎年3月に計量して年間の回収量を確認します。

回収したペットボトルキャップ：125.85kg

回収したプルタブ：10.98kg

- 緑の募金活動（2013年度～）

  12月の10日間を募金期間とし、部門ごとに募金箱を設置、ポスター、メール、放送を通じて全従業員へ呼びかけを行っています。集まった募金は、募金箱をお借りした『公益財団法人山梨県緑化推進機構』様に寄付しました。

- 子ども食堂等への寄付（2023年度～）

  子ども食堂への補助金制度など、子どもの幸せを願い支援する『南アルプス市 子ども若者ささえ愛基金』（南アルプス市の事業）に寄付しました。

- 防災備蓄品の寄付

  保存水(500mlペットボトル)、1,008本を認定NPO法人フードバンク山梨様に寄付しました。

- 石川県を応援

  ・義捐金カンパを実施（社員カンパと会社のマッチング寄付）、石川県に寄付しました。
  ・応援消費として、会社創立記念品に石川県の銘菓を選定しました。

★緑の募金（12月）
- 寄付額・・・ 44,523円

★子ども食堂等への寄付（11月）
- 寄付額・・・ 40,000円

★石川県への義捐金カンパ（4月）
- 寄付額・・・ 236,765円

保存水：42箱

© 2025 Fujitsu I-Network Systems Limited

- 地震体験訓練の実施

  防災月間に合わせて地震体験車を社内に招致し、震度4から7までの揺れを体感しました。防災意識を高め、災害に対する心構えを育むことで、地域にも貢献できるのではないかと考えます。

- やまなしSDGs推進企業として

  山梨県が持続可能な開発目標(SDGs)に積極的に取り組む企業や団体等を「見える化」し、県内におけるSDGsの取り組みの輪を広げるためにスタートした「やまなしSDGs登録制度」の「第１期やまなしSDGs推進企業」(2022年12月)に登録されています。
  （2025年3月31日現在、第7期までで666の団体が登録されています）
  今年は登録企業宛てに案内されたセミナー等にも参加しました。
  2030年までの目標と2024年12月時点の実績は下記になります。

FINETの重点的な取組	SDGs達成年 2030年度までに	登録時 2022年12月	2年経過 2024年12月
再生可能エネルギー利用率	40%	4%	12.2%
女性管理職の割合	30%	4.5%	4.5%
子ども食堂への寄付	10万円	0円	4万円

© 2025 Fujitsu I-Network Systems Limited

■ 【環境教育・環境啓発活動】

- 環境月間（6月）の普及活動

  垂れ幕（玄関）とポスター（構内各所）を掲示し、環境講演会を開催するなど、環境月間を知ってほしいと始めた活動ですが、今では環境について考える機会として発展しています。

- 環境講演会の開催

  山梨県の環境事業「やまなしエコティーチャー派遣事業制度」を利用し、講演会を開催しました。
  『「生物多様性の保全」は温暖化と同等に重要！生活/社会への影響は私たちが考えているより大きい！対策の遅れを取り戻す必要がある！』をサブテーマに植物・鳥・動物を中心とする自然の重要性や触れ合い方などを学習しました。
  参加者からは、面白くわかりやすい内容で取り組みに意欲が湧いたとの感想が聞かれました。

6月27日（木）　参加者：33名

- 全社環境教育

  全従業員を対象に当社のISO14001の認証を維持するために必要なこと、会社の取組みや活動の実例、SDGsの中で環境に関わることについての学習を年1回実施しています。

■ 【廃棄物削減活動】

- 分別／有価物化の推進（各職場）
- リサイクル品保管センターでの細かな分別

★主な有価物

- 半田屑／半田付きウエス
- 鉛フリー屑
- 鉄くず／線材／基板
- 廃却部品／製品／設備
- 廃ダンボール／古紙
- 捨て基板／リール梱包材(廃プラスチック)

■ 【業務改善による環境負荷の低減】

- 設備点検・チェック作業のデジタル化（帳表入力用のアプリケーションの導入）の拡大

  記入・撮影・報告をタブレット端末で行うことで、情報のデジタル管理が実現し、設備異常の事前対策（予兆、傾向の認知)、異常発生時の調査時間の短縮、早期/適切な対応が可能になりました。生産性の向上に加え、紙管理の排除による業務の効率化や紙使用量の減少により廃棄物削減にもつながっています。

- 輸送便の統合による走行距離の削減

  同方面にある取引会社へ各々往復していた輸送便（2便）について、 輸送品減少に伴い納品のタイミング等を調整し、3社間を移動する統合便にすることで総移動距離をおよそ5600km/年、削減しました。

© 2025 Fujitsu I-Network Systems Limited

環境に関わる法規制の順守状況

法改正の速やかな把握により自社の事業活動に関わる法規制を確実に維持管理しています。
また、法規制に基づく所轄官庁への報告、届出の実施等、法規制を確実に順守しています。

■ 地下水の水質検査

- 地下水：2024年4月16日と10月11日に地下水モニタリングを実施し、規制基準を順守していることを確認しています。

物質名	地下水基準(mg/L)	2024年度内最大測定値	結果
1,1-ｼﾞｸﾛﾛｴﾁﾚﾝ	0.1以下	0.001未満	○
1,2-ｼﾞｸﾛﾛｴﾁﾚﾝ	0.04以下	0.001未満	○
1,1,1-ﾄﾘｸﾛﾛｴﾀﾝ	1以下	0.008	○
ﾄﾘｸﾛﾛｴﾁﾚﾝ	0.01以下	0.001未満	○
ﾃﾄﾗｸﾛﾛｴﾁﾚﾝ	0.002以下	0.0002未満	○

★地下水モニタリング採水について

2009年に採水井戸（3か所）を設置し、土壌汚染対策法に基いた地下水基準順守のモニタリングを実施しています。
山梨県、南アルプス市へ「問題なし」の結果報告を継続しています。

■ 騒音および振動の測定

- 騒音及び振動の測定を敷地境界において2024年11月1日・6日に実施し、規制基準を順守していることを確認しています。

年　月　日	区分		自主基準値	山梨県条例値	2024年度内最大測定値	結果
11月 1日・6日	騒音	朝	53	55	44	○
		昼	57	60	47	○
		夕	53	55	44	○
		夜	45	45	41	○
	振動	昼	55	60	30未満	○
		夜	50	55	30未満	○

★騒音、振動の測定について

構内6か所にて、騒音規制法、振動規制法の山梨県条例に基づき、測定を実施しています。
学校が隣接しているため、自主基準値も設定しています。

■ フロン排出抑制法の対応

- 対象機器：空調室内機・室外機、製造設備、食堂設備等の内、フロンを使用しているもの。（家電リサイクル品は除く）
- 簡易点検／定期点検　：　１台ごとに点検時期を越えることなく実施し、問題の無いことを確認しています。

点検種類	点検の時期	実施年月日	点検数 （台）	結果
簡易点検　1回目	３か月毎に１回	2024年 4月16日～6月7日	384	○
簡易点検　2回目		2024年 7月9日～9月10日	383	○
簡易点検　3回目		2024年 10月9日～12月12日	384	○
簡易点検　4回目		2025年 1月16日～3月18日	382	○
定期点検 対象：50kW以上の空調機	３年毎に１回	2022年9月～10月	239	○

© 2025 Fujitsu I-Network Systems Limited

環境方針

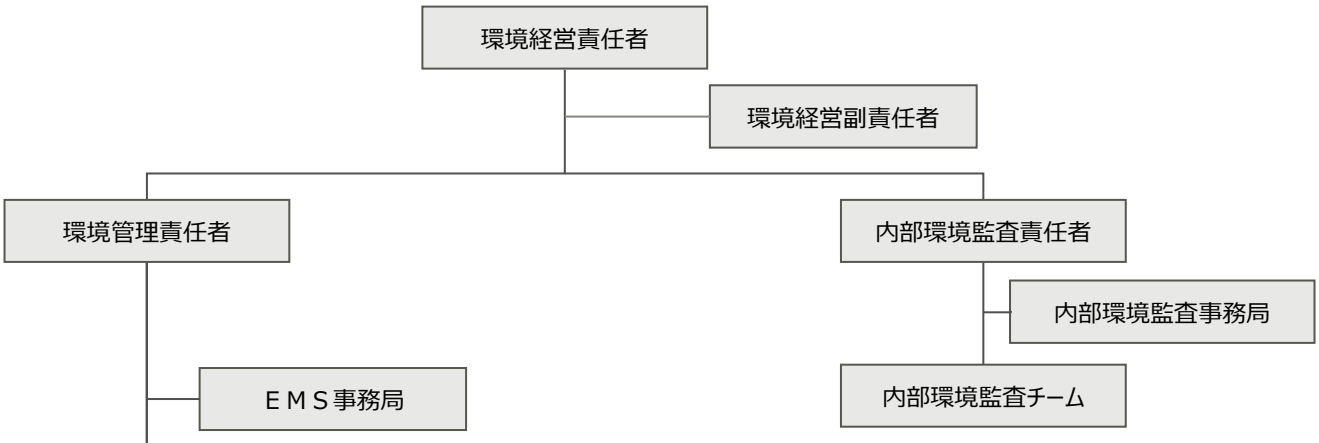
当社は、南アルプス、八ヶ岳、富士山を三方に望む自然豊かな南アルプス市に位置する企業として、環境保全が企業の重要課題であることを認識し、豊かな自然を次の世代に残すことができるよう地球にやさしい企業活動を積極的に推進します。

■ 基本方針

1. 環境に与える影響を常に把握し、環境関連法、条令を順守します。さらに化学物質や廃棄物による汚染の予防や生物多様性保全を始めとした地球環境保全活動に努めます。
2. ＩＳＯ１４００１に準拠した環境マネジメントシステムを構築し、環境により良い事業活動を推進するとともに、継続的な維持改善を実施します。
3. エネルギー消費CO2排出量の削減に努め、脱炭素社会の実現に貢献します。
4. 地域に根差した企業として社会への貢献活動に参加するとともに、環境啓発活動を推進します。
5. 中長期目標を具体的に推進するため環境目標を設定し、組織的活動により達成を目指す取り組み、および見直しを継続的に行います。
6. この方針は、教育・社内広報活動を通して当社内での業務に従事する全員に周知を行い、環境意識の高揚を図ります。

環境活動に対する対象組織

■ 組織構成は3社、343名（2025.4.1時点）となっており、活動体制は下図の通りです



部門名称	部門構成
コーポレート部門	事業企画統括部（経営管理、人事総務、情報セキュリティ、境施設管理）、DX推進室
ビジネス推進部門	SCM統括センター（販売推進グループ、調達グループ、プロダクトオペレーショングループ、サービスオペレーショングループ）
製造部門	製造統括部（製造ソリューション、製造）
品質保証部門	品質統括部（NIサービス、品質保証）
ＦＨＢＳ部門	㈱エフ・エイチ・ビジネスサポート
ＦＩ・ＴＥＣ部門	エフアイ・テック㈱

© 2025 Fujitsu I-Network Systems Limited

環境負荷データ

使用量 (INPUT)

- 電力　：　2,959MWh
- 灯油　：　0.5KL
- ガソリン　：　0.3KL
- 軽油　：　0.9KL
- LPG　：　23.2t

※電力：再エネ購入量(524MWh)は
マイナスしていません

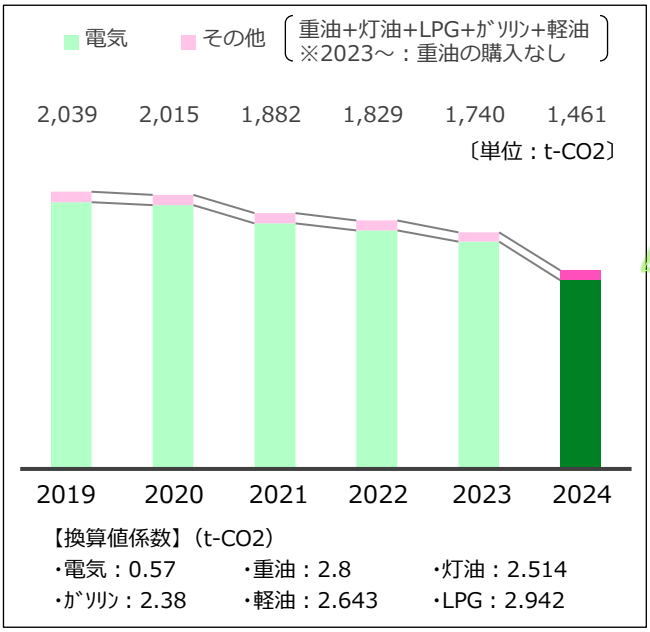
排出量 (OUTPUT)

- CO2　　：　1,461 t-CO2
- 廃棄物　：　101 t

※CO2：再エネ購入量（299t-CO2）マイナス済み

環境負荷データの経年推移（主要な取り組み事例）

■ CO2排出量



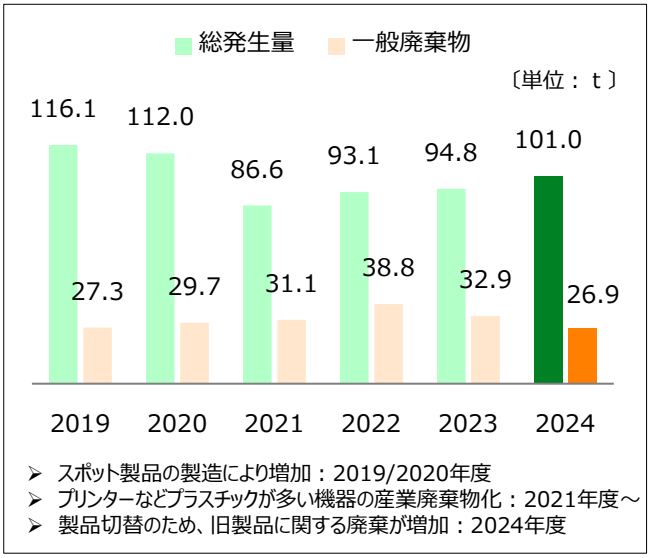
【換算値係数】(t-CO2)
・電気：0.57　・重油：2.8　・灯油：2.514
・ｶﾞｿﾘﾝ：2.38　・軽油：2.643　・LPG：2.942

★ 再エネ購入（2021年度より開始）
- 298.7t-CO2を購入（2024年度）

★ 省エネ対策
- 太陽光発電
- 設備更新時の省エネ機器への切替
- 建屋改修、遮光シートの設置　他
  ※詳細は2ページ参照

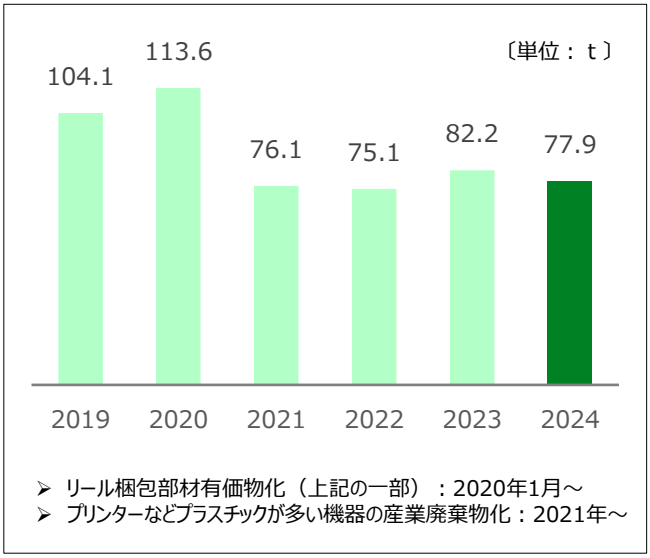
★ その他
- 2022年度に重油使用設備を廃却により、
  2023年度以降、重油の使用はありません

■ 廃棄物



- スポット製品の製造により増加：2019/2020年度
- プリンターなどプラスチックが多い機器の産業廃棄物化：2021年度～
- 製品切替のため、旧製品に関する廃棄が増加：2024年度

■ 有価物



- リール梱包部材有価物化（上記の一部）：2020年1月～
- プリンターなどプラスチックが多い機器の産業廃棄物化：2021年～

★ 廃棄物削減への活動
- 分別の推進を基本の活動としています。
- 主な有価物については6ページをご参照ください。

© 2025 Fujitsu I-Network Systems Limited

お問い合わせ先

富士通アイ・ネットワークシステムズ株式会社

環境施設管理部
〒400-0226　山梨県南アルプス市有野３３４６
TEL：055-285-0383　FAX： 055-285-0314

発行責任者　多田　真敏
編集責任者　上畠　康一
発行年月日　2025年 6月 13日
記載事項対象期間　2024年4月～2025年3月
報告URL：https://fi-net.co.jp/

© 2025 Fujitsu I-Network Systems Limited